

3. 10の振興策とその方法一覧

1 地域と関わる
「人のすそ野」を拡大する

振興策1 農地を守る人を確保する

方法1	集落の将来について話し合う
方法2	集落ぐるみで営農組織を運営する
方法3	人材を確保する
方法4	地域を支える人材を育てる
方法5	地域農業の担い手に女性の力を活かす

振興策2 一緒に支える人を受け入れる

方法1	企業・団体等と連携する
方法2	「やまの健康」に取り組む
方法3	農福連携に取り組む
方法4	多様な人材を活用する
方法5	移住者を支える仕組みをつくる
方法6	協働する人を受け入れ、思いを伝える

振興策3 地域に関わる人を増やす

方法1	農業体験等の参加者と地域課題を共有する
方法2	クラウドファンディングなどの応援者を集める仕組みを活用し地域の取組を伝える
方法3	中山間地域の魅力を発信する

2 豊かな資源を持つ中山間地域を
次世代に引き継ぐ

施策4 住み続ける条件を整える

方法1	生活サービス機能等を集約した「小さな拠点」を形成する
方法2	暮らしの困りごとに対処する
方法3	獣害対策に取り組み暮らしを守る
方法4	コミュニティを強化する
方法5	美しい風景・景観を守り育てる
方法6	学校と連携して地域の意識を高める

振興策5 近隣集落と連携する

方法1	共通する課題で近隣集落と連携する
方法2	日本型直接支払制度の取組を広域化する
方法3	学区単位でコミュニティ組織をつくる
方法4	棚田地域振興法の仕組みを利用する

振興策6 農地の使い方を考える

方法1	作目の転換：山菜等を植える
方法2	作目の転換：果樹を栽培する
方法3	農地を獣害対策の緩衝帯・集落景観用地として活用する
方法4	復旧が困難な農地の活用を図る

3 経済活動としての農業の付加価値を高める

振興策7 担い手に農地を集める

方法1	農地中間管理機構を活用する
方法2	農業法人の参入を促す

振興策8 コストを下げる(省力化・低コスト化)

方法1	生産基盤を強化する
方法2	スマート農業を導入する
方法3	スマート林業を導入する
方法4	ドローンなどを活用した作業代行サービスを利用する

振興策9 収益の上がる作物を生産する

方法1	収益の上がる作物に転換する
方法2	水田を畑地化・汎用化するための基盤整備を行なう

振興策10 新たな収入源をつくる

方法1	6次産業化による新たな事業を展開する
方法2	地域資源を活かした食事や体験交流プログラムを提供する
方法3	農泊に取り組む
方法4	森林空間を活かした新たな仕事をつくる

手引き本編第5章には、事例で紹介した制度等の概要を紹介しています。



滋賀県中山間地域振興の手引き

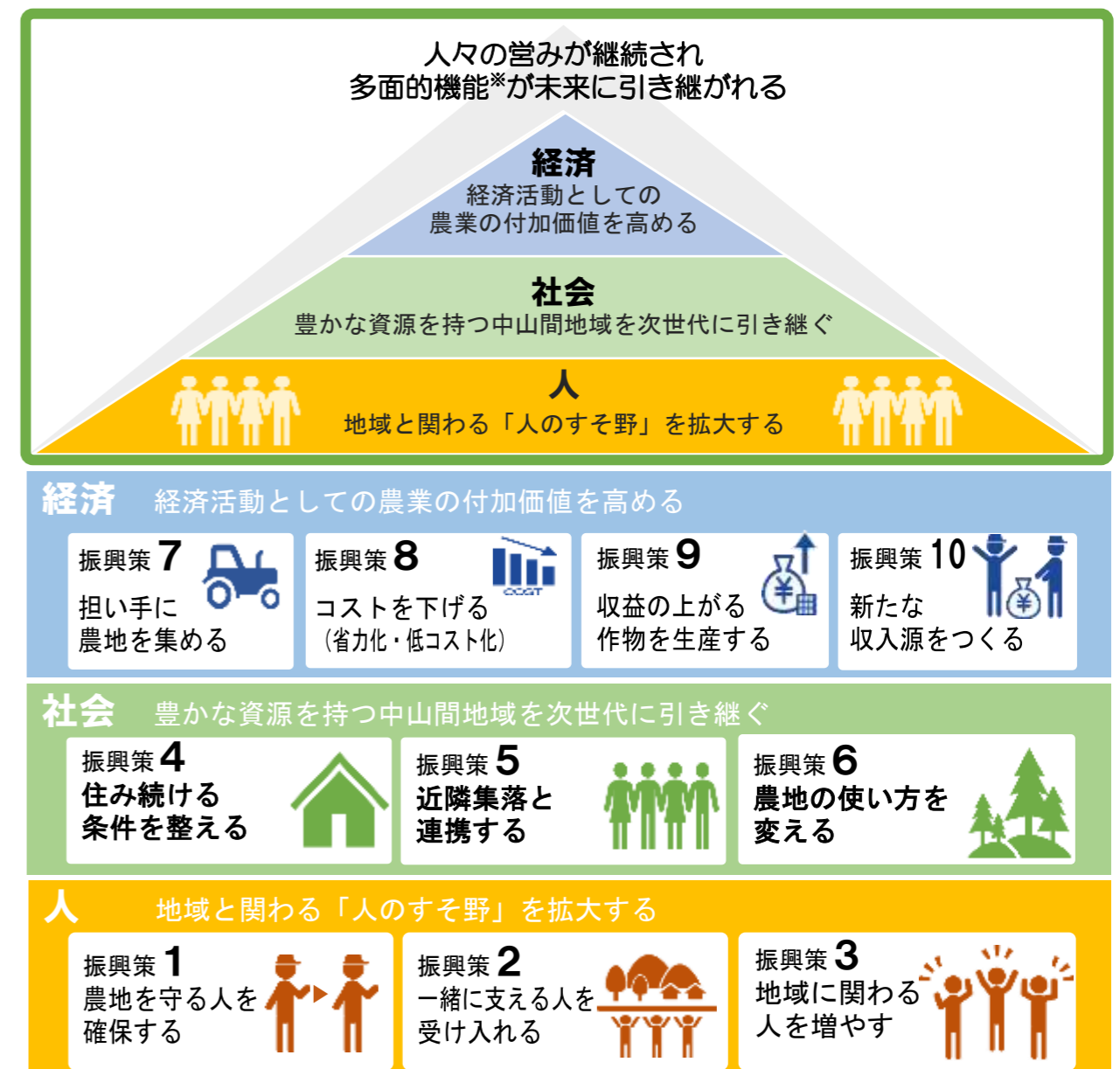
この手引きは、中山間地域に存在する地域資源の活用や、地域の問題の解決についての話し合いを助ける情報を集めたものです。

集落の役員の方などが、手引きを手にとった際に、**地域資源の活用や地域の問題の解決に役立つ情報を探し、振興策を検討していく**ことを想定しています。

手引きが提供する地域診断シートや地域資源発掘シートなどを活用して、**地域自前で現状分析を行いながら検討すること**にも役立てて頂けます。

また、地域住民が一体となった取り組みに向けて、住民の話し合いの方法も紹介しています。

1. 本手引きにおける中山間地域の目指す姿と10の振興策



※多面的機能とは：「国土の保全、水源の涵養（かんよう）、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等、農村で農業生産活動が行われることにより生ずる、食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能」のこと。

2. 手引きの使い方

基本は以下の1～4の順に進めます。

①～④のシートは、手引き簡易版にも掲載しています。また、県農村振興課ホームページでもダウンロードできます(振興策別事例集などもダウンロードできます)。

1 まずは役員で、地域の状況を診断し、地域資源を発掘する

なんとかしないと!

地域診断シートと地域資源発掘シートを「地域の現状が客観的にわかるツール」として活用します。

得点記入

【1】 地域と関わる「人のすそ野」を拡大する (42)

【2】 豊かな資源を持つ中山間地域を次世代に引き継ぐ

【3】 経済活動としての農業の付加価値を高める (42)

地域診断シートの点数の高低を知ること、地域での更なる取り組みの余地がどこにあるかを考える際に役立ちます。

書記を決めて1枚のシートに記入します。

①～④の各シートの使い方は、簡易版では6頁～10頁を参照。

2 診断結果等を見ながら課題の抽出と10の振興策と事例集を参考に「こうなりたい」を話し合い

こうなりたい!

10の振興策と振興策別事例集を参考に「こうなりたい」シートを作成します。

「こうなりたい」シート

テーマ	診断得点	課題	こうなりたい
地域に関わる「人のすそ野」を拡大する	42	課題抽出・「こうなりたい」	
豊かな資源を持つ中山間地域を次世代に引き継ぐ	42		
経済活動としての農業の付加価値を高める	42		

手引き本編「10の振興策」(第2章)や「振興策別事例集」(第4章)を参考にしながら、地域資源を活用できるアイデア出しをして「こうなりたい」の欄を埋めます。

簡易版では、11頁からの「中山間地域の10の振興策とその方法の概要」、資料1～3頁の「振興策別事例集」を参照。

※地域資源や課題等が明確な地域では、2から始めることも可能です。

3 具体的な振興の取り組みを話し合う

みなさんに提案してやってみよう!

事例で紹介した制度等

手引き本編第5章「事例で紹介した制度等」も参考にしながら、取組の具体的な内容を話し合っています。

実践する振興策	農業体験等の参加者と地域の課題を共有
具体的内容	〇〇大根保存プロジェクト：農業体験会
活用する資源	〇〇大根
実行するために必要なこと	ターゲットである〇〇に開催趣旨と体験に来てもらう受け入れのため、 シート4 準備。体験者との 振興策の検討 がための〇
実施体制・ネットワーク	〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、
活用できる制度	〇〇〇
継続性	5年間は開催し、関係人口の定着を図る
スケジュール	〇年〇月から実践に向け、事業計画作成
事業費(費用項目)	〇〇〇〇円 (〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇)
目標	継続して応援してくれる人 5年後
参考になる事例	〇〇〇

行政や外部有識者等の意見
〇〇大学〇〇先生から、体験会後のつながりを保ち育みたいとのアドバイスあり。

簡易版では14頁「事例で紹介した制度等」を参照。

4 地域で話し合い振興策を取りまとめる

みんなでまとめる

この時点で行政や有識者の助言を求めるとも有効です。

シート4 振興策の検討

ワークショップ方式：本編第3章-10～12頁ワークショップ方式で話し合いを進める方法も紹介しています!

ワークショップ方式を導入する場合、1～2をワークショップ形式で、その結果を踏まえ、3は役員で検討し、4はみんなで話し合います。